



常盤炭田に労働運動の種を蒔いたのは大正八年頃の友愛會であつた。其の當時の労働運動は(わけても鑛山運動は)やもすれば暴動化するやうな運動であつた。當時鑛山部には足尾銅山はじめ釜石鑛山、常磐地方には磐城炭礦、唐虫炭礦、日立鑛山と云ふ様に有名なストライキが起つたのであつた。其後常磐の運動は一時影を没した如くであつたが大正十四年頃より再び労働運動が捲き起り、鑛山労働者の果敢な經濟闘争が始まつた。かくて總同盟系全日本鑛夫總聯合の支部が磐城炭礦をはじめ入山、好間、藤原、小田赤井と又茨城方面には丸茨、石岡、重内、唐虫と云ふやうに各地にその支部が確立したのであるが、大正十五年労農黨の分裂を機とし麻生一派は總同盟の指導精神に反逆し別に日本労働組合同盟をつくり鑛夫總聯合は日本鑛夫組合となり常磐の運動は全く彼等の手に占領されてしまつた。かくて更に昨年末日本大衆黨の結成に及んで常磐の大衆も亦舊日労農に引摺られて之に参加するの已むなきに至つた。しかしながら彼等の指導精神は或は理論的に過ぎ或は又現實を離れて高踏的のものであつて労働者の現實生活につきては何等顧みない、彼等は強制的労働争議を起させ慘敗の結果多數の失業者を出してしまつた幹部の專制指導に大衆が何時までも盲従して居よう筈がない。況や大衆黨の如き共産黨的暴力の指導統制を受けるが如きは断じて承服し難いことである。

常務労働運動の進むべき道

(上) 黒澤市之輔

平 町 田 町 (電話五二三番) 高 久 病 院  
醫 學 士 高 久 忠 菊 清 雄  
新潟醫學士 赤 羽 竹 菊  
藥 劑 士 佐 竹 菊  
耳 鼻 咽 喉 科 小 兒 科 外 科 花 柳 病 科  
レ ン ド ゲ ン 科

正味十貫目入 壱俵(金六十五錢)  
◎日本デ一番評判ノ良イ東京瓦斯コ一クス  
コ一クス壹俵 金壹圓參拾錢  
◎木炭ノ三倍御徳用ナ(少)ノ玉炭  
玉 炭 大箱壹箱 金貳 圓  
▼配達ハ一俵ヨリイタシマス

# 妙咳止の 藥

# 才ヒル錦

醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗  
新嘉坡 嘴止の  
妙藥 才ヒール鍊  
平町一丁目〔電話四六二番〕  
大平屋藥店

◎適應症  
回春劑

定價一拾圓

平町專賣所  
五丁目角  
山野邊藥局

新學期	
通學服賣出	
黑小倉	¥ 2.20
上等ヘル	¥ 4.50
上紺サージ	¥ 4.20
其他各種入荷致しました 防水マントも近く賣出します	
なかや洋服店	
平	一 (電二〇三)

セメント  
壁用材料  
コールタル  
ベンキ塗料  
板ガラス  
代理店  
磐城セメント株式會社  
西村屋藥鋪  
平町二丁目  
電話三番

磐城共濟病院組織

卷之三

卷之三

X	內
產婦人科部長	院長 醫學博士
顧問	副院長 腹學士
醫學博士	內科部長 腎學士
光	外科部長 醫學士
產	外 科 內 臟 外 科 整 形 外 科 レントゲン科
婦	五 十 嵐 雄 波
人	中 西 林 藏
科	難
女	家 憲
子	木
泌	退
尿	レントゲン科
科	輔 介
川	二 睦
添	正
十	道
五	二
嵐	一
雄	一

主任 畠學博士  
本院醫事法制囑託法學士 難波睦蕃治  
◎御大典記念事業トシテ 岡澤忠  
一 菅 生 試 驗 所 (共濟病院内) 賀澤  
本院主事

共濟病院  
（共濟病院内）十二月一日より開始  
（共濟病院内）十二月一日より開始

流下藥  
秘密に譲ります  
無効返金  
七圓金  
價藥全金

月やく此より心配の人は安心確實無害に流下し目的を達する當局發賣の強烈特殊薬を用ひなさい。  
◎某店の如く無責任薬は貰らぬ。

高き醫療より安い薬剤師へ

特に平町田町字佐美藥局に

◎醫藥分業の標語募集

一等五圓時若債券(以下略ス)四月三十日迄用紙ハガキ  
金料大廉賣(◎コールタール一・二・五)